

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年4月3日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年4月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【6号機原子炉建屋換気空調系冷却装置からのフロン微小漏えいについて】 フロン設備の健全性確認(漏えい確認)において、原子炉建屋換気空調系冷却装置の圧縮機(B)の吐出側安全弁より、フロンの微小漏えいを確認。 なお、現在は安全弁の隔離が可能であるため、隔離を行い漏えいのないことを確認。 また、当該機器については、停止中。	GIII